



各位

2013年3月6日

株式会社 おきぎん経済研究所

## おきぎん県内景況・確報(2013年1月分)

個人消費関連の下支えが継続する中、観光・建設関連も強めに推移していることなどから、県内景況は回復力が強まっている。

\* 今回、上方修正 \*

### ○個人消費関連

スーパー売上高・百貨店…スーパー売上高は「全店ベース」で前年同月を上回り、「既存店ベース」は下回る。百貨店売上高も前年同月を下回る。

家電卸出荷額…前年の地デジ関連需要の反動などにより前年同月を下回る。

新車登録台数…軽乗用車が新商品需要などで堅調なものの、エコカー補助金制度終了の影響などで前年同月を下回り、全体を押し下げた。

### ○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

住宅投資・建設資材…着工戸数、生コン、セメント出荷量のすべてで前年同月を上回る。

### ○観光関連

入域観光客数…4ヵ月連続で前年同月を上回る。

主要大型ホテル稼働率…那覇市、ビジネスで前年同月を上回り、西海岸は下回る。

観光施設入場者数…3ヵ月連続で前年同月を上回る。

### ○倒産・雇用

企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は大幅に上回る。有効求人倍率…前月より上昇。

### ○生産関連

鉱工業生産(12月)…前月より下落。

大口電力使用量…前年同月を下回る。

### ○物価関連…消費者物価指数は前年同月を下回り、ガソリン(レギュラー、軽油)価格は上回る。

\*お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

担当: 當銘(全般・建設関連)、上地(観光関連)、喜瀬(個人消費関連)

電話: 098-869-8711(代表)、ファクシミリ: 098-869-2200

**現場主義とお客様からの信頼**

## おきぎん県内景況・確報(2013年1月分)

◎2013年1月 おきぎん「カトリア」景況図



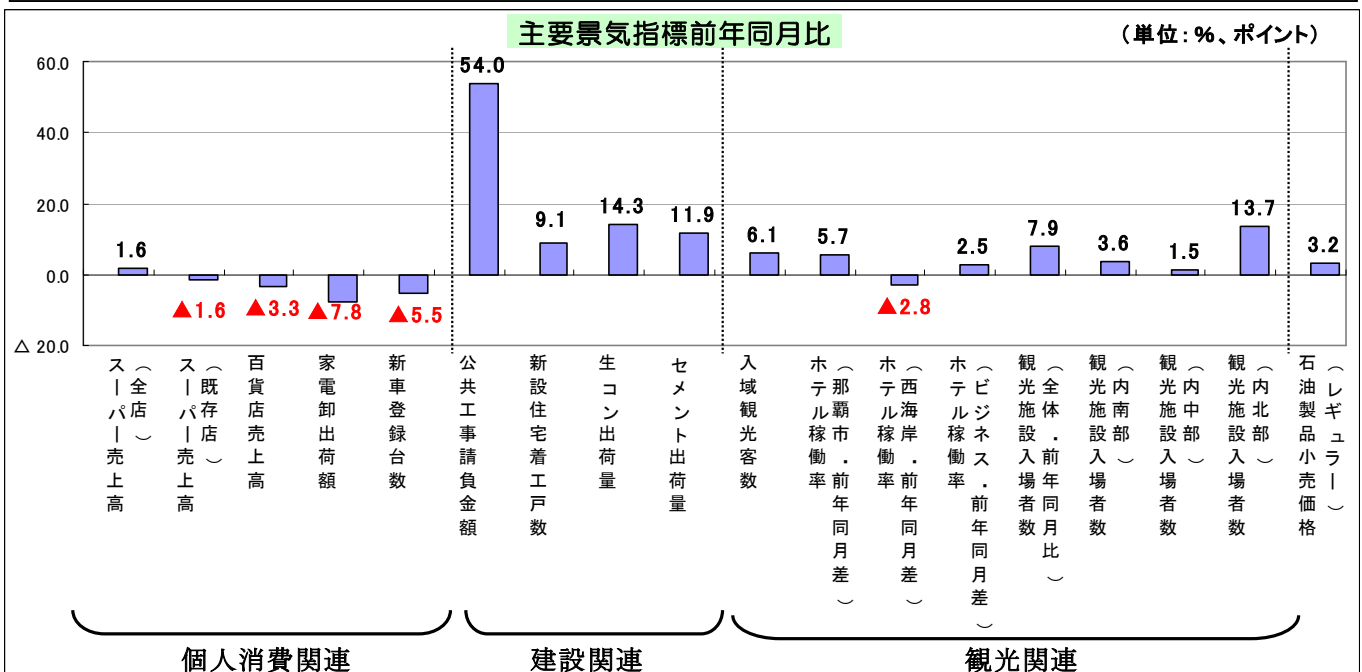
◎概況： **個人消費関連の下支えが継続する中、観光・建設関連も強めに推移していることなどから、県内景況は回復力が強まっている。**

1月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」が前年同月を上回り、「既存店ベース」は下回りました。百貨店売上高は衣料品などが低調で前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は地デジ関連製品の需要低迷等により前年同月を下回りました。新車登録台数は、エコカー補助金制度終了(2012年9月21日終了)の影響により、前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は沖縄県や市町村発注工事により前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を上回り、建設資材である生コンやセメントもともに上回りました。

観光関連では、入域観光客数は4ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率は那覇市内主要ホテル、ビジネスホテルにおいて前年同月を上回りましたが、西海岸リゾートホテルで前年同月を下回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みると、「**個人消費関連の下支えが継続する中、観光・建設関連も強めに推移していることなどから、県内景況は回復力が強まっている**」と景気判断を上方修正しました。(今回、上方修正)





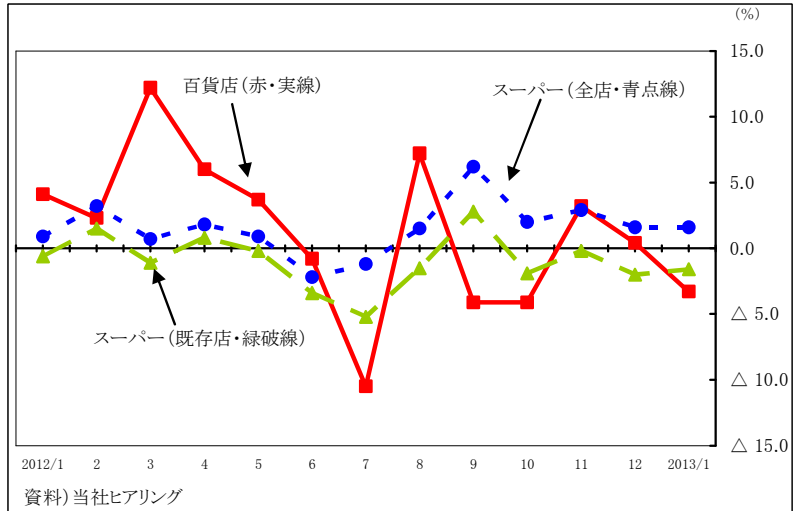
■個人消費：(ふつう)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベースで前年同月を上回り、既存店ベースでは下回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2012/1	0.9	△ 0.6	4.1
2	3.2	1.5	2.3
3	0.7	△ 1.1	12.2
4	1.8	0.8	6.0
5	0.9	△ 0.2	3.7
6	△ 2.2	△ 3.4	△ 0.8
7	△ 1.2	△ 5.2	△ 10.5
8	1.5	△ 1.5	7.2
9	6.2	2.8	△ 4.1
10	2.0	△ 1.9	△ 4.1
11	2.9	△ 0.2	3.2
12	1.6	△ 2.0	0.4
2013/1	1.6	△ 1.6	△ 3.3

注)前年同月比



1月の個人消費関連では、スーパー売上高は、「全店ベース(前年同月比 1.6%増)」が6ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規店舗の出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同 1.7%増)」や「衣料品(同 1.9%増)」、「家庭用品(同 1.1%増)」が前年同月を上回りました。

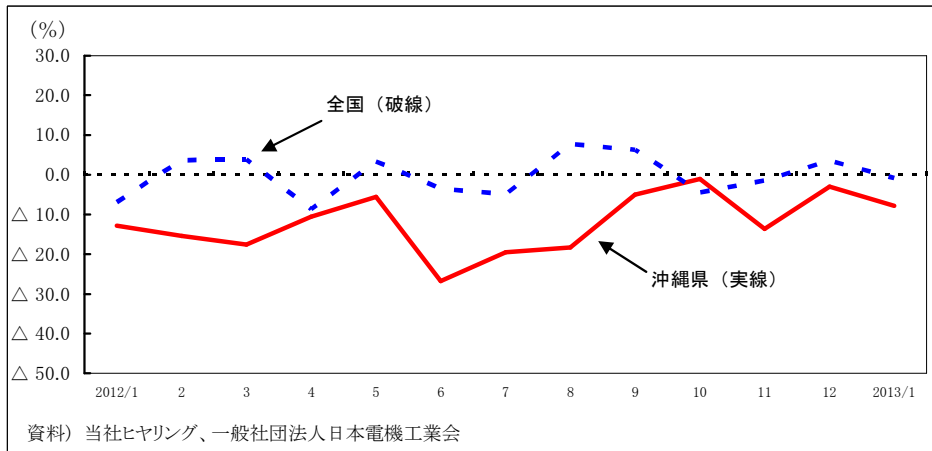
一方、「既存店ベース(同 1.6%減)」では4ヵ月連続で前年同月を下回りました。(以下、既存店ベース)品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 1.1%減)」は、旧正月(旧暦 1 月 1 日)の時期が昨年(平成 24 年 1 月 23 日)よりも今年(平成 25 年 2 月 10 日)は遅く、需要が 2 月にシフトしたことなどから前年同月を下回りました。「衣料品(同 1.9%減)」は、例年よりも 1 月下旬の気温が高く晴れた日も多かったことなどから、冬物衣料の売上が低調で前年同月を下回りました。家電を含む「家庭用品(同 3.1%減)」は、アナログ放送終了(2011 年 7 月 24 日)以降続いている地デジ関連製品の需要低迷などにより前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、例年よりも 1 月下旬の気温が高く、晴れた日も多かったことから衣料品などの売上が低調で、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同 3.3%減)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 8.8%減)」は、「婦人服(同 5.0%減)」が一部店舗の撤退や天候要因により前年同月を下回ったほか、「紳士服(同 8.3%減)」が天候要因、「子供服(47.6%減)」が売場縮小などにより前年同月を下回りました。また、「食料品(同 2.8%減)」も催事の売上が低調だったことなどから前年同月を下回りました。一方、「雑貨(同 7.9%増)」は、リニューアル効果(2012 年 3 月)の継続、「身の回り品(同 4.1%増)」は昨年 2 月に行ったアクセサリ催事を 1 月にシフトしたことなどにより前年同月を上回りました。

## ②家電卸出荷額…地デジ関連需要低迷などにより、前年同月を下回る。

単位:%

	沖縄県	全国
2012/1	△ 12.8	△ 6.9
2	△ 15.4	3.7
3	△ 17.6	3.9
4	△ 10.6	△ 8.7
5	△ 5.6	3.3
6	△ 26.8	△ 3.5
7	△ 19.5	△ 4.9
8	△ 18.3	7.7
9	△ 5.0	6.3
10	△ 1.0	△ 4.4
11	△ 13.6	△ 1.5
12	△ 3.0	3.5
2013/1	△ 7.8	△ 0.8



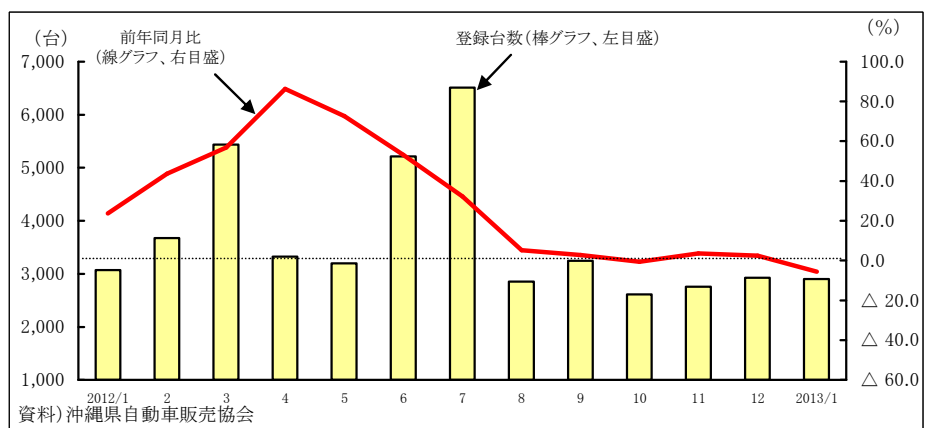
注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降続いている地デジ関連製品の需要低迷などにより、テレビの売上が低調で全体を押し下げ、18ヵ月連続で前年同月を下回りました(同7.8%減)。品目別でみると、「テレビ(同45.6%減)」や「DVDレコーダー(同43.4%減)」が前年同月を下回りました。「冷蔵庫(同13.1%減)」や「洗濯機(同17.6%減)」は、エコ関連商品の需要が継続的に高まっているものの、高水準であった昨年程は伸びず、前年同月を下回りました。一方、「エアコン(同16.0%増)」は、新型商品の需要が好調に推移したことに加え、建築業者からの大型発注(アパート新築対応用など)などにより前年同月を上回りました。

## ③新車登録台数…エコカー補助金制度終了の影響などにより前年同月を下回る。

単位:台,%

	台数	前年同月比
2012/1	3,072	23.7
2	3,679	43.7
3	5,439	56.7
4	3,323	86.3
5	3,200	72.6
6	5,212	53.2
7	6,511	32.1
8	2,856	5.3
9	3,248	2.7
10	2,613	△ 0.5
11	2,753	3.6
12	2,925	2.5
2013/1	2,902	△ 5.5



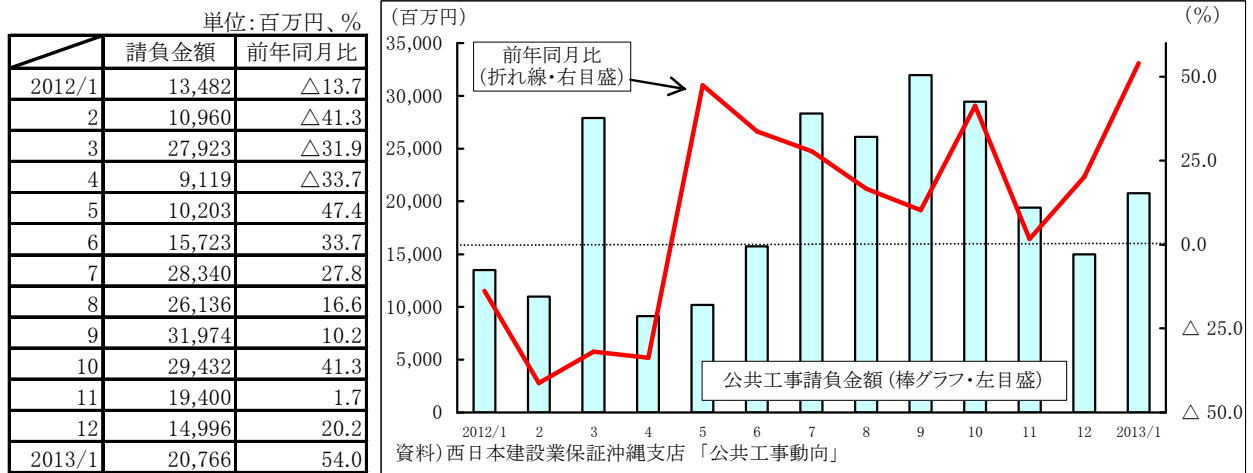
注) 前年同月比

**新車登録台数**は、全体で2,902台となり、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同5.5%減)。新商品(新車種、モデルチェンジ等)やレンタカーの需要が堅調に推移した「軽乗用車(同5.8%増)」は16ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、2011年12月に復活したエコカー補助金制度終了(2012年9月21日終了)の影響により、「普通乗用車(同25.2%減)」は5ヵ月連続、「小型乗用車(同20.7%減)」は3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。



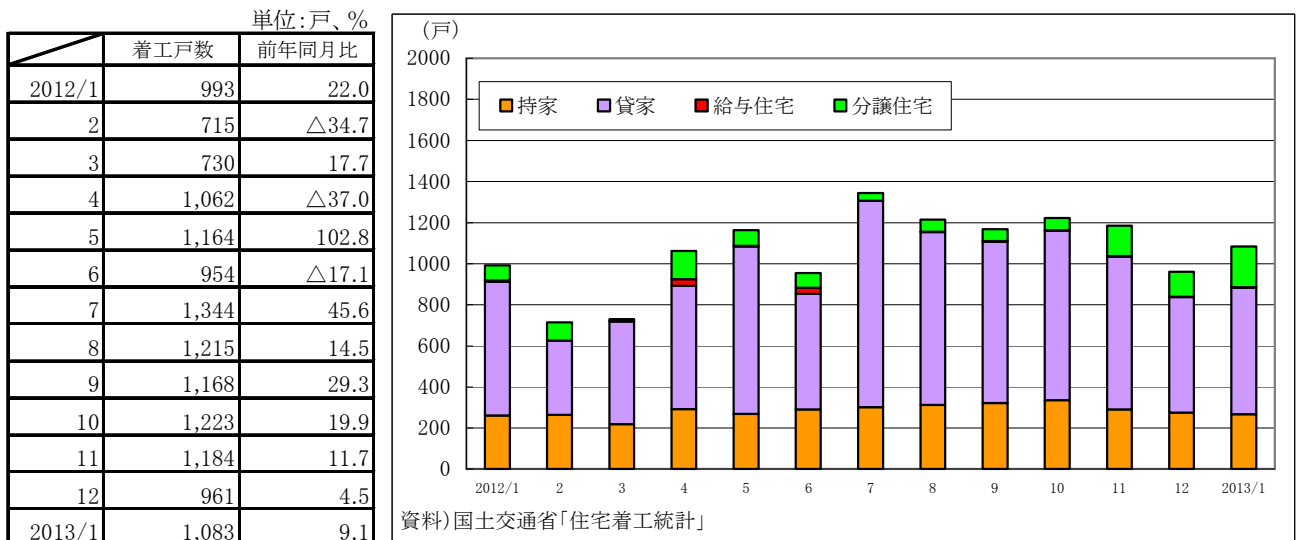
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



1月の**公共工事請負金額**は、前年同月比 54.0%増の 207 億 6,600 万円となりました(9ヵ月連続増)。発注者別でみると、「その他の公的団体(同 6.8%減)」が前年同月を下回ったものの、「国(同 44.5%増)」は沖縄防衛局発注による嘉手納基地関連工事、「沖縄県(同 89.8%増)」は中頭地区での高校校舎改築工事、「市町村(同 44.8%増)」は那覇市内での市営住宅建替工事などにより前年同月を上回りました。

②住宅投資・建設資材…着工戸数、生コン、セメントのすべてで前年同月を上回る。



1月の**新設住宅着工戸数**は、全体で前年同月比 9.1%増の 1,083 戸と7ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数を見ると、ウェイトの高い「貸家(同 5.7%減)」が前年同月を下回ったものの、「持家(同 2.7%増)」や「分譲住宅(同 164.0%増)」は前年同月を上回りました。**建設資材関連**では、生コンの出荷量は 14.3%増加し、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より 15.9%増、民間工事向け出荷も 13.3%増加しました。セメントの出荷量も 11.9%増と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

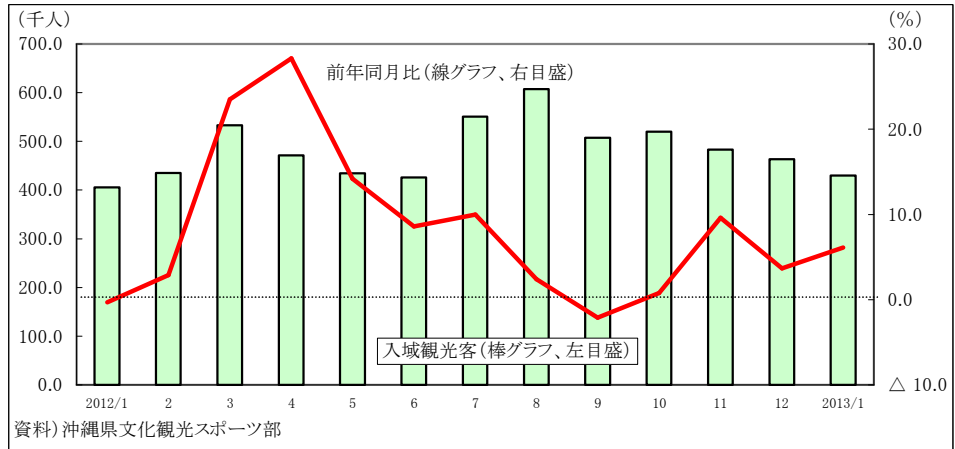


■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数…4ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2012/1	405.0	△ 0.3
2	434.8	2.9
3	533.1	23.5
4	471.1	28.3
5	434.3	14.2
6	426.4	8.6
7	550.4	10.0
8	607.2	2.4
9	507.3	△ 2.1
10	519.7	0.8
11	483.1	9.6
12	463.4	3.7
2013/1	429.7	6.1



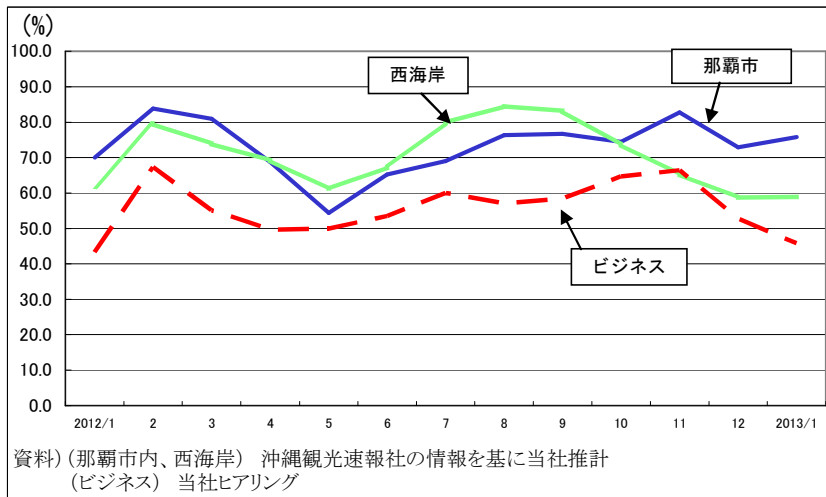
1月の入域観光客数は、前年同月より6.1%(24,700人増)多い429,700人となり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳をみると、「国内客(同7.5%増)」は年始年末の日並びの良さや、LCC就航等による効果などから前年同月を上回りました。主要路線別でみると、成田からの入域が大きく増加した「東京方面(同6.9%増)」を中心に全ての主要路線(「関西方面(同7.7%増)」「福岡方面(同0.8%増)」「名古屋(同11.5%増)」)で前年同月を上回りました。

一方、「外国客(同21.6%減)」は、15,600人(4,300人減)となり、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。今年の春節(旧正月)が2月(前年は1/23)となったことから中華圏からの入域客数が大きく減少しました(「台湾(同18.0%減)」「中国本土(同89.1%減)」「香港(同59.1%減)」)。

②ホテル稼働率…那覇市内主要ホテル、ビジネスで前年同月を上回り、西海岸で前年同月を下回る。

単位:%

	稼働率		
	那覇市	西海岸	ビジネス
2012/1	70.1	61.7	43.3
2	83.8	79.5	67.3
3	80.9	73.9	55.1
4	68.7	69.2	49.7
5	54.4	61.2	49.9
6	65.2	67.2	53.5
7	69.0	79.8	60.0
8	76.3	84.4	57.1
9	76.7	83.2	58.4
10	74.4	73.6	64.7
11	82.7	65.2	66.4
12	72.9	58.7	52.7
2013/1	75.8	58.9	45.8



※2012年4月よりビジネスホテルの対象に変更があった為、遡って修正している。

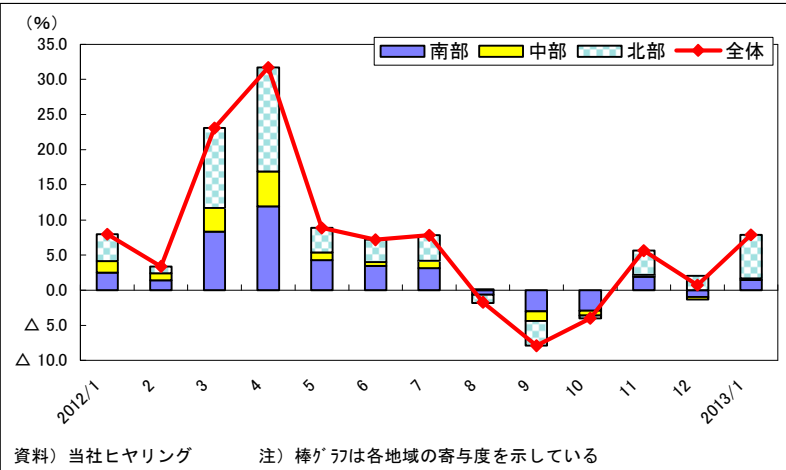
\* 那覇市内8ホテル、西海岸11ホテル、ビジネス7ホテル

県内ホテル稼働率は、那覇市内主要ホテルが75.8%と5.7ポイント上昇(5ヵ月連続)、西海岸リゾートホテルが58.9%と2.8ポイント下落(3ヵ月ぶり)、那覇市内ビジネスホテルが45.8%と2.5ポイント上昇(11ヵ月連続)しました。

③観光施設入場者数…3ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2012/1	8.0	6.1	11.4	8.5
2	3.4	3.5	8.0	2.0
3	23.1	20.2	24.7	25.2
4	31.7	29.7	33.4	33.0
5	8.8	10.7	7.5	7.6
6	7.2	8.5	4.3	6.8
7	7.8	9.5	8.9	6.6
8	△1.7	△1.8	1.0	△2.3
9	△7.9	△8.5	△11.0	△6.8
10	△4.0	△6.7	△5.1	△1.0
11	5.6	4.3	2.0	8.3
12	0.7	△2.2	△2.6	4.9
2013/1	7.9	3.6	1.5	13.7



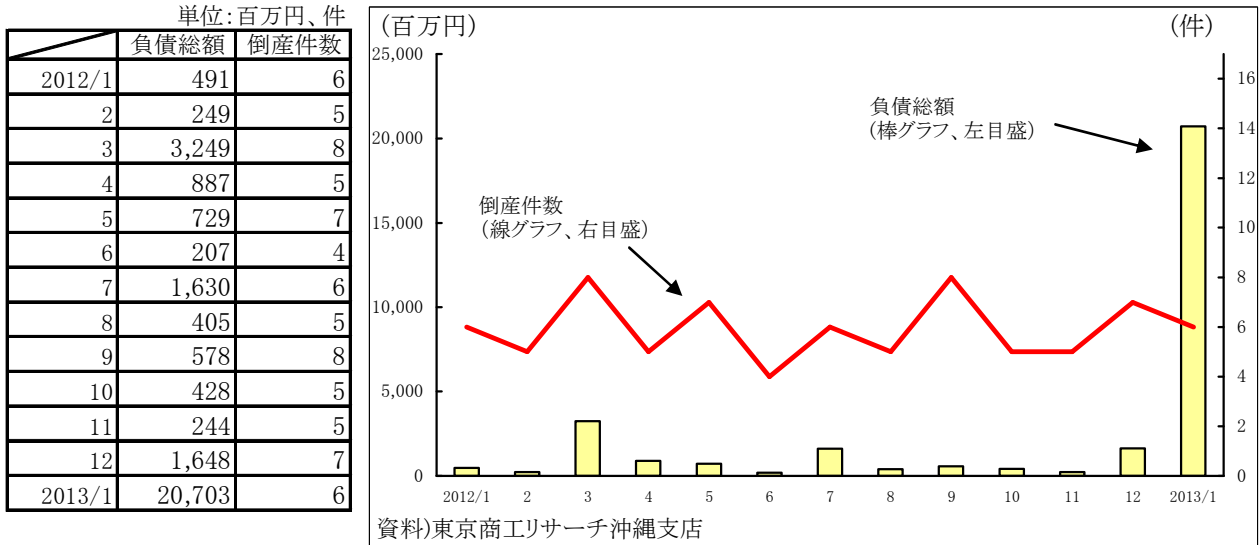
\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

**観光施設入場者数**は、全体で前年同月より7.9%増加(3ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同3.6%増と2ヵ月ぶり、中部は同1.5%増と2ヵ月ぶり、北部は同13.7%増と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。



■企業倒産： (ふつう)

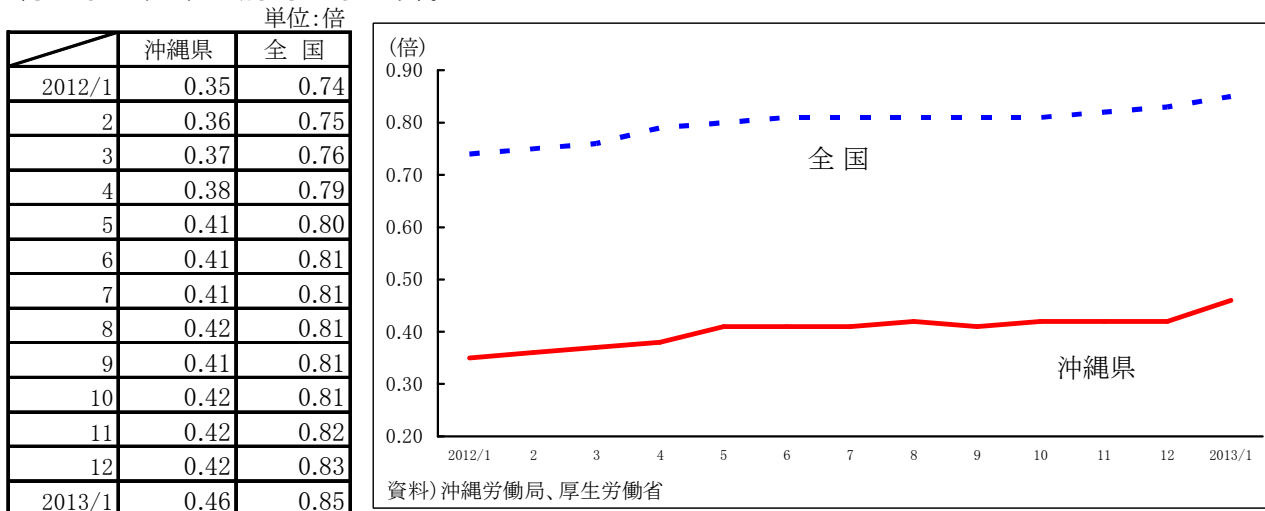
企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は大きく上回る。



1月の**企業倒産件数**は、6件(うち、10億円以上の大型倒産が2件、1億円以上の大口倒産0件)発生し前年同月と同数となりました。負債総額は207億3百万円と不動産賃貸業の大型倒産があり、前年同月の42.2倍となりました。

■雇用関連： (ふつう)


有効求人倍率…前月より上昇。



注)季節調整済  
注)季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

1月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比6.7%増の15,660人に対して、月間有効求職者数(同上)は同2.3%減の34,404人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.46倍で前月より0.04ポイント上昇しました。完全失業率(原数値)は前年同月より0.9ポイント低下し、6.6%となりました。

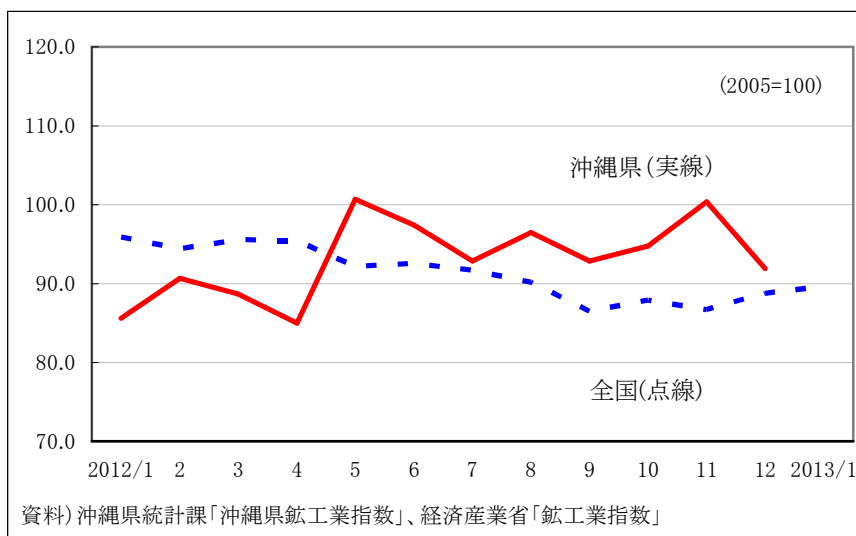


■ 鉱工業・大口電力関連:  (ふつう)

① 鉱工業生産指数…前月より下落。

	沖縄県	全国
2012/1	85.6	95.9
2	90.7	94.4
3	88.7	95.6
4	85.0	95.4
5	100.7	92.2
6	97.4	92.6
7	92.9	91.7
8	96.5	90.2
9	92.9	86.5
10	94.8	87.9
11	100.4	86.7
12	91.9	88.8
2013/1	-	P 89.7

注1) 数値は季節調整済指数  
注2) 基準は2005年=100

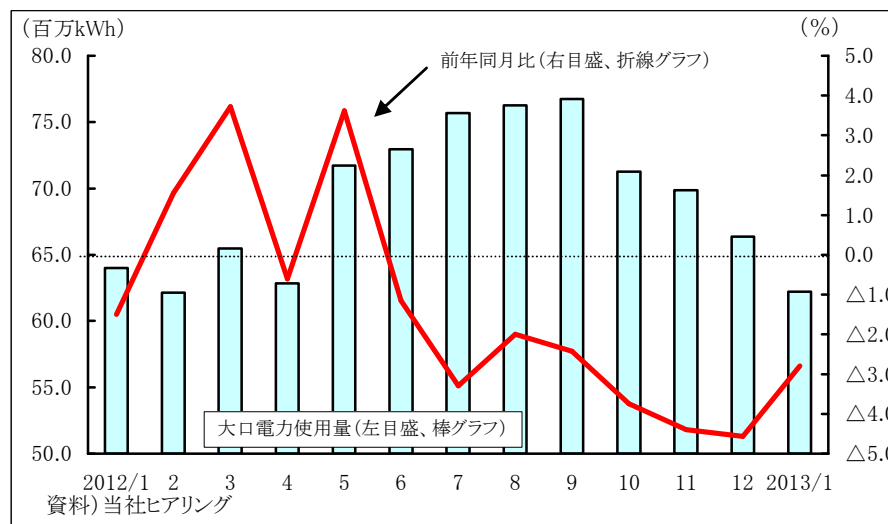


鉱工業生産指数(県内:12月)は、前月より8.5%下落し、91.9となりました。産業別にみると、「金属製品工業(同25.9%減)」や「石油製品工業(同12.6%減)」等の業種で前年同月を下回りました。

② 大口電力使用量…前年同月を下回る。

単位: 百万kWh、%

	大口電力使用量	前年同月比
2012/1	64.0	△1.5
2	62.1	1.5
3	65.5	3.7
4	62.8	△0.6
5	71.7	3.6
6	73.0	△1.2
7	75.7	△3.3
8	76.3	△2.0
9	76.8	△2.4
10	71.3	△3.7
11	69.9	△4.4
12	66.4	△4.6
2013/1	62.2	△2.8

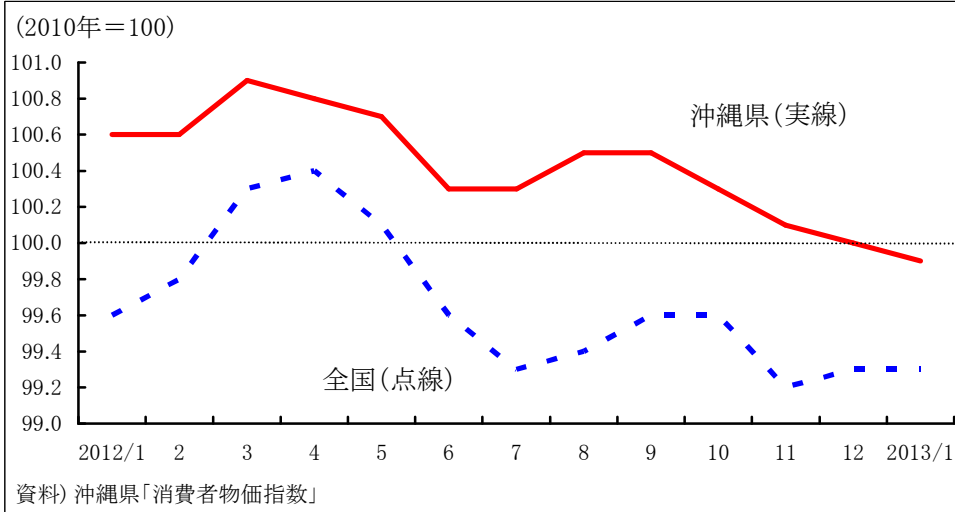


1月の大口電力使用量は、「窯業土石製造業(同8.3%増)」が前年同月を上回ったものの、「石油石炭製造業(同6.3%減)」や「鉄鋼製造業(同2.1%減)」などが前年同月を下回り、全体では前年同月より2.8%減少しました。

■物価関連:  (ふつう)

①消費者物価指数…前年同月を下回る。

	沖縄県	全国
2012/1	100.6	99.6
2	100.6	99.8
3	100.9	100.3
4	100.8	100.4
5	100.7	100.1
6	100.3	99.6
7	100.3	99.3
8	100.5	99.4
9	100.5	99.6
10	100.3	99.6
11	100.1	99.2
12	100.0	99.3
2013/1	99.9	99.3



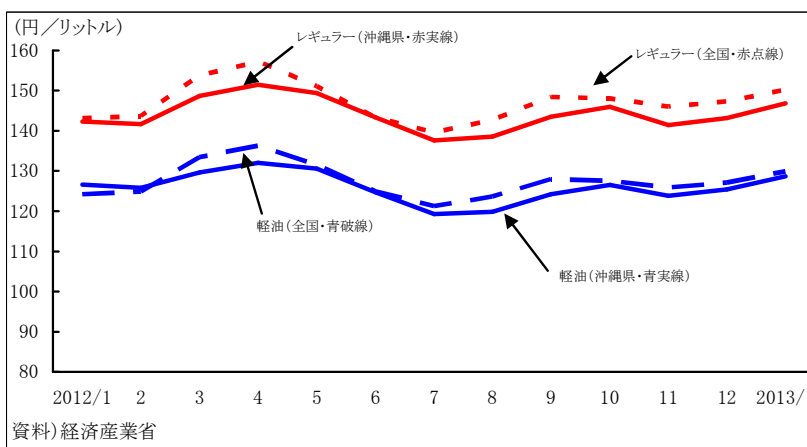
注) 基準年変更(2005→2010)に伴い、当データも改訂を行っている。

1月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比0.6%下落し、99.9となりました。内訳をみると、生鮮野菜などを含む「食料品(同1.5%減)」等が全体を押し下げました。

②ガソリン小売価格…前年同月を上回る。

単位:円/リットル

	沖縄県		全国	
	レギュラー	軽油	レギュラー	軽油
2012/1	142.3	126.6	143.1	124.2
2	141.7	125.8	143.7	124.9
3	148.6	129.7	153.8	133.5
4	151.5	132.0	157.3	136.3
5	149.4	130.6	151.1	131.4
6	143.4	124.7	143.3	124.9
7	137.6	119.2	139.6	121.3
8	138.6	119.9	142.7	123.6
9	143.6	124.2	148.5	128.0
10	146.0	126.5	148.1	127.6
11	141.4	123.8	146.0	125.9
12	143.2	125.4	147.4	127.2
2013/1	146.8	128.7	150.3	129.9



注) 各月次データは、週次調査結果の平均値を用いている。

1月のガソリン小売価格は、県内、全国において「レギュラー」、「軽油」ともに前年同月を上回りました。県内におけるレギュラー小売価格は前年同月より3.2%(消費税込価格)上昇し、軽油小売価格も前年同月より1.7%(消費税込価格)上昇しました。